

## 令和4年度定時総会

日にち:令和4年6月16日(木)

会場:東天紅上野店

6月16日、東京都台東区の東天紅上野店において、「令和4年度通常総会」を開催しました。小笠原左衛門尉亮軒会長のあいさつに続き、第1号議案（令和3年度事業報告および収支決算）、第2号議案（理事・監事の選任）の説明と審議がなされ、原案通り可決しました。その後ただちに理事会が招集され、新会長、新副会長、新常務理事の発表と、事務局より令和4年度事業計画および収支予算の報告があり、総会は無事終了しました。

## 三好世紀副会長が新会長に

総会で新たに選任された理事・監事により理事会が招集され、会長・副会長・常務理事の選任が行われました。三好世紀副会長が会長に、柴田貢常務理事と長岡求常務理事が副会長に就任しました。新役員は右表のとおりです。なお小笠原会長には、「園芸文化協会隠居」として今後も協会の活動を見守っていただきます。三好新会長からは「小笠原会長からバトンを受け取るのは正直荷が重いですが、お受けしたからには、会員の皆様のご意見ご要望を承り、園芸文化の発展向上に精一杯努めてまいります。」とのあいさつがありました。



あいさつをする三好新会長



## 新役員

《会長》	三好世紀	株式会社ミヨシグループ 取締役会長
《副会長》	柴田 貢	柴田園芸刃物株式会社 代表取締役
	長岡 求	株式会社フラワーオークションジャパン 顧問
《常務理事》	奥 峰子	有限会社ホリーホックガーデン 代表取締役社長
	黒木達司	株式会社サカタのタネ 執行役員 国内営業本部 副本部長
	佐藤直樹	タキイ種苗株式会社 取締役開発部長
	須磨佳津江	キャスター
	林 豊司	公益社団法人園芸文化協会 事務局担当理事
《理事》	伊東政信	テクノ・ホルティ園芸専門学校 校長
	上田奈美	一般社団法人日本ハンギングバスケット協会 理事長
	笈川勝之	フラワーファーム都筑の里 代表
	小笠原誓	名古屋園芸株式会社 代表取締役
	川崎景介	マミフラワーデザインスクール 校長
	穴戸 博	一般財団法人国民公園協会新宿御苑 支部長
	武内嘉一郎	株式会社グリーン武内 代表取締役
	永田晶彦	愛知豊明花き流通協同組合 理事長
御巫由紀	千葉県立中央博物館 自然誌・歴史研究部 資料管理研究科長	
望田明利	GA ちば花緑の会 会長	
《監事》	阿比留みど里	株式会社ヒューマンコミュニケーションズ 代表取締役
	南場浩一	公益社団法人園芸文化協会 編集委員・会報編集長

# 令和2年度/令和3年度 園芸文化賞 表彰式・記念講演

「令和4年度 定時総会」に続き、開催を見合わせていた「令和2年度/令和3年度 園芸文化賞」の表彰式と受賞者による記念講演を行いました。感染対策のため規模を縮小しての開催となりましたが、3年ぶりということもあり、会場は同窓会のような温かく和やかな空気です。



になりました。小笠原誓新理事が生けた壇上の立花も会場をより華やかに彩りました。



表彰式・記念講演には、令和2年度園芸文化賞受賞の鳥居恒夫氏、令和3年度園芸文化賞受賞の岩淵公一氏、塚本こなみ氏の3氏全員が出席されました。

三好世紀新会長のあいさつに次ぎ、ご来賓の公益財団法人東京都公園協会理事長の佐藤伸朗様、公益社団法人日本植物園協会会長の西川綾子様よりご祝辞を賜りました。次いで表彰選考会の柴田道夫審査委員長から審査講評があり、三好新会長より受賞者に賞状と副賞のメダルが贈呈されました。記念講演では、その植物にのめりこんだきっかけやエピソード、長年の成果や苦労話などを語っていただきました。その道を究めた人の言葉の重みと熱量に一同圧倒されっぱなしでした。



前列左から岩淵公一氏、塚本こなみ氏、鳥居恒夫氏  
後列左から黒木常務理事、小笠原前会長、三好新会長、柴田審査委員長



記念講演



鳥居氏



岩淵氏



塚本氏

もちだ先生の「知らない常識・知ってる間違い」2022 前期

～被害症状から考えられる病害虫の原因と対処法と農薬について～  
(2) 株全体に出る症状編

日にち：7月15日(金)

会場：緑と水の市民カレッジ(日比谷公園)

講師：理事 望田明利

株全体に異常が出る原因を「栽培管理(灌水、肥料、土壌)によるもの」「害虫によるもの」「病害によるもの」の3つに分け、対処法と予防法をくわしく解説いただきました。20件近い質問にその場で明瞭簡潔に回答していく様子はお見事でした。

セミナーに参加して

埼玉県 小俣三枝

全3回にわたる講座のうち、今回は「植物全体に出る症状編」でした。例えば栽培管理等によって起きる場合の「①水管理」では、鉢替えの必要性だけではなく、なぜ一気に大きな鉢へ植替えてはいけないのか、その理由をわかりやすくご説明下さいました。特にご専門である病害虫に関するお話では、様々な角度から、様々な植物の被害状況を実体験を基とされた個々の写真を交えてご説明下さるので、万人が納得される内容なのだと思えました。けれども、今現在自分自身がその

与えられた貴重なパーツ(知識)を上手に組み立てることが出来ておりません。引き続き望田先生のセミナーに参加し、害虫による被害が病気につながるなどの被害状況の移り変わりなども把握し、更には「耕種的防除法」「生物的防除法」「物理的防除法」「化学的防除法」を理解できるようにしたいと思います。



日比谷公園第一花壇で学ぶ日本の園芸・日本の育種 2022 前期  
ヘメロカリス

日にち：7月20日(水)

会場：緑と水の市民カレッジ(日比谷公園)

講師：岡本自然農園 岡本守夫  
常務理事 奥 峰子



埼玉県小川町でヘメロカリスを育種・生産されている岡本守夫さんにお越しいただき、たくさんのヘメロカリスの品種の写真をお見せいただき、特徴や育て方のコツ、魅力などについてたっぷりお話しいただきました。

セミナーに参加して

千葉県 末永陽子

岡本先生のお話を伺い、ヘメロカリスは育てやすく、とても魅力的な植物ということを改めて感じました。育て方から交配の仕方、種子播きのコツまで丁寧に惜しみなく教えてくださいました。そして沢山の品種の写真を見せ

ていただきました。

花色は、野生種では黄色や橙、赤茶色系が多いようですが、赤やピンク、紫色の品種もありました。また花びらの模様や形、大きさ、草丈などもバラエティーに富んでいて驚きました。海外の品種は色がハッキリしていて大きな花が多いですが、岡本先生が作る品種は水彩画的な色合いで、日本人ならではの感性で花選びされていて、品種名も和の趣きで素敵でした。

日比谷公園第一花壇には岡本先生のヘメロカリスが19品種植えられているそうです。夏にご来園の際は是非ご覧いただきたいです。育種家の先生のお話を聴ける貴重な機会をどうもありがとうございました。

「おもてなしガーデンボランティア(情熱のローズガーデン)」講習会 2022-2023

「情熱のローズガーデン」植栽バラの特徴と育て方・楽しみ方

日にち：6月11日(土)

会場：東京港埠頭株式会社会議室

講師：『New Roses』編集長 玉置一裕



「情熱のローズガーデン」のバラ「ルビー フラワー カーニバル」



ボランティア参加者のスキルアップのための講習会の第2回は、バラを知り尽くす玉置一裕さんを迎え、「情熱のローズガーデン」に植栽されている30品種超のバラについて、6つに分類し、それぞれの花や香りの特徴、育て方、仕立て方、さらには今どきのバラやローズガーデンのトレンドなど、たっぷりお話し

いただきました。皆さん初めて聞く話に興味津々。もっとバラが好きになったことでしょう。

講習会はボランティアに参加していなくても受講可能です。9月と2月にも行います。詳しくはP8をご覧ください。各回とも残席わずかのためお申込みは早めに。

連載

育てるだけが園芸じゃない

# 花を上手に撮る



ちょっとしたコツ ③

園芸研究家・写真家 福井万利子

私のライフワークは「花と虫たち」です。蝶や蜂を呼び寄せる蜜源植物や食草を育て、生態写真を撮っています。花は生命を伝えていくために、虫たちに受粉を助けてもらいます。逆に、虫たちは花粉や蜜を花からもらって生命を維持しています。お互いに「持ちつ持たれつ」の関係を保ちながら、自然の営みを繰り返します。私はその美しい姿をレンズを通して見せてもらっています。



サルビア・コクシネア レッド & オオスカシバ Canon EOS 40D Macro 100 mm f/4.0 1/160s ISO 100



自家採種を25年間繰り返したケイトウ・ピア&サルスベリの黄葉 Canon EOS 40D Macro 100 mm f/5.0 1/250s ISO 400

## 福井万利子 (ふくい まりこ)

園芸研究家、写真家、オルガニスト。Mari Garden 草花研究室主宰。ローランドミュージックスクール講師。京都府向日市緑化園芸教室を10年間担当。園芸教室や講習会、園芸雑誌の執筆を通じて園芸の楽しさを伝えている。タキイ種苗の情報誌『園芸新知識 はなとやさい』など執筆多数。京都市在住。



コスモス・ソナタ (多粒播き) SONY α900 Macro 100 mm f/4.0 1/250s ISO 200

# レンズと露出

## レンズ

私が常用しているのは「マクロレンズ」です。

小さな被写体を大きく撮れるレンズであり、肉眼では見えない世界を見ることができます。単焦点レンズなのでズーム撮影はできませんが、接写だけでなく風景や人物撮影にも使えるので便利です。今回の掲載写真はすべてマクロレンズを使用しています。

SONY α900  
Macro 100 mm  
f/13.0 1/160s  
ISO 200



ユーバトリウム・チョコラータ (銅葉藤袴) & ツマグロヒョウモン

## 露出

露出とは、写真を撮る時に取り込まれる光の量のことです。カメラが最適な露出を判断してくれるオートモードでも、簡単に綺麗な写真が撮れます。

しかし、一歩踏み込んで「もう少し明るくしたい」とか「もう少し暗くしたい」など意図的に強調して見

せたい時は「露出補正」をします。より明るくしたい時は+ (プラス) 方向に、より暗くしたい時は- (マイナス) 方向に設定します。この機能はメーカーや機種によって異なるので、それぞれお持ちのカメラを確かめてみてください。写真に深みが出るので、ぜひ挑戦してください。

露出補正  $-0.3$  (暗くなる)



SONY α900 Macro 100 mm  
f/3.5 1/125s ISO 200

露出補正  $\pm 0$



SONY α900 Macro 100 mm  
f/3.2 1/125s ISO 200

露出補正  $+0.4$  (明るくなる)



SONY α900 Macro 100 mm  
f/2.8 1/125s ISO 200  
ジニア・ザハラ ファイア



モミジ  
Canon EOS 40D Macro 100 mm f/5.0 1/250s ISO 200



ヘンリーツタの実  
SONY α900 Macro 100 mm f/4.5 1/160s ISO 200



ケイトウ・ピア ミニ仕立て  
SONY α900 Macro 100 mm f/5.6 1/320s ISO 200



コリウス・ケアフリー & カレックス・ブロンズカール ミニ仕立て  
SONY α900 Macro 100 mm f/4.0 1/125s ISO 200



## 夏花壇に観葉植物

年々夏の暑さが増し、雨の量、梅雨明けの時期も予測のつかない中、夏花壇を美しく保つのは至難の業となりました。今回は、落葉樹の下の花壇の夏バージョンに、観葉植物を使う例をご紹介します。

落葉樹の下では、晩秋から春までは日差しが入り、色々な草花を植えることができますが、夏になると日当たりが悪く、花を期待するのは難しくなります。私はカラーリーフで勝負するのですが、夏によく使われるコリウスだけではどうしても単調になってしまいます。そこで観葉植物を加えてパリエーションを増やしています。



まず購入した観葉植物の苗は、葉焼けを防ぐために、数日軒下に置きます。その後2~3日間、日が当たるところに出して馴らし、それから花壇に植えます。梅雨が近くタイミングで植えると、徐々に日差しに順応できるので、より屋外に馴れやすく葉は痛みません。

観葉植物の1鉢の値段は高いですが、暑さや豪雨にも耐え、霜が降りる直前まで長く楽しめます。シダ、オリヅルラン、



コリウス 'ゴリラ' r、オリヅルラン、ディフェンバキア、ドラセナ、タマシダ、シマハランなど（東京都品川区・東品川海上公園にて）

ドラセナなどは、不織布やエアークッションで防寒して、霜が当たらないよう軒下で冬越しさせ、毎年使っています。



「国書総目録」（岩波書店刊、明治以前即ち江戸期までに我が国で成立した書物の目録）によれば「劔蘭花鏡集」とあり、編著者、成立年代共に不明、国会図書館と東京都立中央図書館に蔵すとあり、出向いて両書共確認したが当文庫蔵本と同系の写本であった。

江戸時代には蘭の字は、本来フジバ



カマに当てるべき字であるが、蕙字と同様ランにも当てて用いられている。念のために諸橋の大漢和辞典を見るに、「蘭=らん、イ・菊科の香草の名、ふじばかま... □・蘭科の香草の名数種あり一茎一花のものを春蘭（しゅんらん）といひ、一茎数花のものを蕙蘭といひ、心の白

いものを素心蘭といふ。又福建省には秋に開花する蘭がある之を建蘭といふ。...」これにより、蘭、蕙、建蘭の区別がはっきりする。

又これとは別に蘭、蕙などの葉に斑が入ったものを総称して葉蘭（ようらん）と呼んだ。（ハランではない）さて度々引用する「花壇綱目」によれば、春蘭、大蘭などラン科植物はいくつも解説し、栽培上の項目にも蘭を項目立して養土、肥料、置き場、水やりなど詳しく書いていることから、江戸中期



には相当の愛好家があり、日本産を始め、中国産の種類も数多く栽培されていた。

本書は、本文全九丁（十八頁）各頁に一図づつが彩色で描かれている。品種名は左の通り 覆輪春蘭獨頭蘭ト云 春蘭ノ内双頭蘭 黄縞蘭鍛冶屋蘭 楊貴妃小蘭 寒鳳蘭 紅寒蘭 紫寒蘭 玉？蘭？玉也 寒蘭 青寒蘭 素真蘭報歳蘭 金陵辺 唐春蘭 博蘭 春鳳蘭 覆輪蘭古今輪 以上十八種である。

# おもてなしガーデンボランティア (情熱のローズガーデン)



シンボルプロムナード公園内「情熱のローズガーデン」(東京都江東区)のボランティア活動報告です。

《6月11日》

花壇での初作業は、植物の名札つけを

しました。名札にマーカーで「植物名・品種名」を手書きし、設置していくという作業なのですが、名札も花壇のデザインの一部なので、どの植物に、どのサイズの名札を、どの位置につけるかは、セ

ンスが問われるところで、みなさん大変苦心されていました。ちなみに名札は、この花壇に合うよう杉井志織さんがデザインし、スタッフの松沼さんが制作したものです。いいアクセントになっていると思いませんか？



《7月16日》

杉井さんに「切り戻しの極意」を教わりながら、花がら摘みや支柱立てなどをしました。「この時期極端に短く切り戻してしまうと、周りの生育旺盛な草花と調和しなくなることもあるので、全体を見ながら切り戻しましょう。一般的に言われている位置より浅めに切るのもアリです。」など、見せる庭を数多く手掛ける杉井さんの言葉は、経験に裏打ちされていて、わかりやすく説得力があります。知識と技術も身につけ、暑いなか頑張った甲斐があった1日でした。

園芸文化協会が手伝う

## この夏の花壇から



日比谷公園・青海波花壇

大きい方の花がペチュニア「ラブリーアイ」、濃いピンクに白のストライプが入る小花の「きらりんピンク」

今年も初夏は、様々なペチュニアが花壇を彩ってくれました。

日比谷公園ではタキイ種苗(株)の「ギュギュ ピュアホワイト」、「きらりんピンク」、「ラブリーアイ」が初登場しました。新宿御苑では(株)エム・アンド・ビー・フローラの「YES! ピンクスマイル」と「YES! イエロー」が初お目見えでした。

ペチュニア人気はこれからも続くでしょう。また新しい品種の登場が楽しみです。



新宿御苑・三角花壇

ペチュニア「YES! イエロー」と、中心の円形の中はマリーゴールド「ストロベリーブロード」、ペゴニア「アンバサダー」、カンナ「トロピカルブロンズスカーレット」



日比谷公園・霞花壇

ペチュニア「ラブリーアイ」と「ギュギュ ピュアホワイト」



新宿御苑・丸花壇

ペチュニア「YES! ピンクスマイル」とペゴニア「アンバサダー」、パンタス「ギャラクシー」

# お知らせ

## ■ 新入会員のご紹介 ■

### 《個人会員》 敬称略

三枝二郎 (三重県津市)

好きな花: ラナンキュラス、洋ラン、熱帯スイレン

どうぞよろしくお願ひ致します。一日も早くコロナが終息し、皆様とお目にかかる日を楽しみにしております。

玉田蘭子 (東京都港区)

好きな花: チューリップ・ランタンキュラスなどの球根植物  
植物を眺め、育て、心穏やかに過ごしたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

及川辰幸 (岩手県花巻市)

好きな花: キンボウゲ科 特にクレマチス

一介のクレマチス馬鹿が、歴史ある園芸文化協会に参加できます事に驚いている私自身です。

《賛助会員》東京港埠頭株式会社、株式会社メイクマン

### 事業委員会より

11月3日(木・祝)に小笠原前会長の退任記念講演を開催します。詳しくは別紙案内をご覧ください。

### 講座委員会より

#### 《セミナー実施報告》

##### ●6月11日(土)

「おもてなしガーデンボランティア(情熱のローズガーデン)」講習会(2)「情熱のローズガーデン」植栽バラの特徴と育て方・楽しみ方 講師:玉置一裕氏(『New Roses』編集長) 参加:21名

##### ●7月15日(金)

もちだ先生の「知らない常識・知ってる間違い」2022 前期～被害症状から考えられる病害虫の原因と対処法と農薬について～(2)植物全体に出る症状編 講師:望田明利(理事) 参加:27名

##### ●7月20日(水)

日比谷公園第一花壇で学ぶ日本の園芸・日本の育種 2022 前期(4)ヘメロカリス 講師:岡本守夫(岡本自然農園)・奥峰子(常務理事) 参加:26名

※6月29日(水)日比谷公園第一花壇で学ぶ日本の園芸・日本の育種 2022 前期(3)アガパンサス は中止になりました。

#### 《セミナー実施予定》

※予告なく変更および中止になる場合もございます。

なお、「フラワートライアルジャパン日帰りバスツアー」は開催を見合わせます。また「新宿御苑菊花壇展観菊会 2022」は開催に向けて現在調整中です。決まり次第ご案内いたします。

●日比谷公園第一花壇で学ぶ日本の園芸・日本の育種 2022 後期(1)10月25日(火)ツブキ 講師:山本茂広(ダイカツプラント)・奥峰子(常務理事) 会場:日比谷図書文化館(旧日比谷図書館)4階スタジオプラス 参加費:2,500円 定員:各50名

●もちだ先生の「知らない常識・知ってる間違い」2022 前期～被害症状から考えられる病害虫の原因と対処法と農薬について～(3)9月16日(金)農薬の正しい知識と安全性

時間:13:30～16:00 講師:望田明利(理事) 会場:緑と水の市民カレッジ(日比谷公園) 参加費:各2,000円 定員:各30名

●もちだ先生の「知らない常識・知ってる間違い」2022 後期

(1)10月28日(金)農薬の正しい知識と安全性

(2)11月18日(金)冬季に発生する病害虫の原因と予防法

時間:13:30～16:00 講師:望田明利(理事) 会場:緑と水の市民カレッジ(日比谷公園) 参加費:各2,000円 定員:各30名

●「おもてなしガーデンボランティア(情熱のローズガーデン)」講習会 2022-2023

(3)9月10日(土)秋バラを楽しむために 剪定後の注意点と管理 講師:村上敏(京成バラ園芸(株))

時間:13:00～15:00 会場:青海フロンティアビル11階B・C会議室(東京港埠頭株式会社内) 参加費:会員1,500円/一般2,000円

## 編集長より

ふとしたことから某磁器会社の150年前のアンティーク・ティーカップを手に入れました。朝顔などの花と昆虫がボタニカルアートのように細密に、綺麗な色彩で柔かく描かれています。当時の身近な花が描かれたのか、花の選ばれた経緯は分かりませんが、古さを感じさせず趣があって飽きることがありません。絵付け師の技量の高さが、今も輝きを失わせないのだと思います。カップの迎った150年の道りを想像しながら飲むお茶は、格別でリッチな味わいです。



南場浩一

Brilliant Garden  
ブリアントガーデン

凛と、強く、美しく  
バラに輝きを。

まくだけ 肥料

殺虫剤 & 肥料

株が丈夫になる

バラ好きさんも、ピギナーさんにも  
ご要望にお応えして新発売

HYPONEX 株式会社 ハイポネックス ジャパン  
https://www.hyponex.co.jp

JAPAN FLORAL INDUSTRY  
http://www.jfi.jp

今よりもっと花や緑が身近な存在になれるよう  
私たちJFIグループは  
新しい花き流通を創造してまいります

東京都中央卸売市場大田市場花き部  
株式会社フラワーオークションジャパン

〒143-0001  
東京都大田区東海2-2-1  
切花部 TEL 03-3799-5526  
鉢物部 TEL 03-3799-5435

株式会社市川フラワーオークションジャパン  
〒272-0015  
千葉県市川市鬼高4-5-1  
TEL 047-370-6701

ひまわりで日本中に笑顔と元気を!

SUNRICH  
サンリッチひまわり

タキイ種苗株式会社  
https://www.takii.co.jp